



県央地区青少年のつどい大会

11月19日(土)澄み渡る秋晴れの下、千葉市及び市原市の相談員で構成される県央地区青少年相談員連絡協議会が主催する『県央地区青少年のつどい大会』が千葉市動物公園で3年振りに開催されました。

当日は82名の子供たちが参加し、千葉市・市原市の子供達と相談員スタッフで6~8人のチームを構成し、クイズラリーを楽しんだり、ボーナスポイントを取るためにジャンケンしたりしながら千葉市動物公園内を歩き回りました。はじめは人見知りだった子も、頭も体もたくさん使っているうちに、友達や相談員スタッフと打ち解け、楽しそうに過ごしていました。



市相談員研修会(普通救命講習会)

1月28日(土)に中央コミュニティセンターで、相談員23名出席のもと、千葉市防災普及公社の職員の方を講師としてお招きし、『普通救命講習会』を開催しました。

講習では心肺蘇生法及びAED使用の方法及び小児等の気道異物除去方法を学びました。心肺蘇生・AED・異物除去も大人と子供では方法に違いがあり、子供たちと関わるが多い私たち相談員には非常に有益な情報を得ることができました。

また、コロナ禍で救急車の出動回数が増えており、対応が追いつかず救急車到着まで時間がかかるようになってきているとお話を伺いました。人命救助だけでなく、助けを求める方が居る場合には手を差し伸べられるようにしようとして改めて認識した研修会でした。



千葉市青少年の つどい大会

2023.2.18

クイズ王決定戦開催！



私の謎が解けるかな？



◀ミスター・クエスチョン



初代クイズ王に
贈呈された
豪華な景品！



2月18日(土)に真砂コミュニティセンター体育館で、相談員79名協力のもと、千葉市青少年のつどい大会が盛大に開催されました。今年度のつどい大会は、コロナ禍の状況を踏まえ『クイズ王決定戦』を実施！

千葉市内の小学生から中学生までの総勢142名の参加者が、初代クイズ王を目指して、数々のクイズに果敢に挑みました。

知識問題にひらめき、時には運任せの楽しいクイズもあり！子どもたちは真剣に悩み考え、

正解した時には飛び上がって喜び、非常に熱気あふれる大会になりました。

編集後記

令和4年度が終わろうとしています。コロナ対応をしていく中での試行錯誤しながらの大変なイベント実施でした。

この紙面の子ども達の顔にはマスクがあり口元は見えませんが、体全体から楽しんで笑顔になっていると思います。(いや、私には笑顔に見える!!)

来年度も、この笑顔を届けるために、私たちも楽しんで活動していきたいと思わせる紙面でした。〈広報調査部〉

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めてから三年を経て、各ブロック・学区でも、開催の規模や内容は従前と違えども、今年は様々な行事を再開出来たと聞き及んでいます。

青少年相談員を今以上に地域の皆様に認知してもらうことが、私の目指しているところですので、今後も一致団結して楽しみながら無理せず活動していきたいです！

平成三十一年度に会長に就任し、早四年の月日が過ぎようとしています。

第二十期の初年度はスポーツでの交流を目的とした「千葉市青少年のつどい大会」を開催することが出来ましたが、一・二・三年目は「コロナ禍のため敢え無く開催を断念いたしました。

会長就任四年目である今年度は、事業部が中心となり会議を重ね、コロナ禍の状況を踏まえ、「クイズ王決定戦」として三年ぶりに、つどい大会を開催することが出来ました。当日は保護者も含め二百人以上の参加があったほか、事業部以外の相談員も多数御協力して下さり、大盛況なイベントとなりました。

屈託なく笑う子ども達と一緒に遊びながら、保護者の皆様にも青少年相談員を認知してもらうために、このような活動は大切だと改めて実感したところがございます。

活動に寄せて

…会長より
…ひつひつ